

# 資料 アンケート調査票



# 1 高齢者調査

## ■ 調査に関するお問い合わせ先

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課  
 (担当：岡本、新谷)  
 電話 : 075 (222) 3800  
 FAX : 075 (213) 5801

## ■ 御記入上のお願い

- 1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。質問の冒頭に「あなた」と記載しているものについては全ての方に、波線(〇)で記載している質問は該当する方に、それぞれお答えをお願いします。

### ＜記入例＞

問2 あなたの性別をお教えください。○は1つ>

- ① 男性 2. 女性 3. その他 (答えたくない等) ◀ 「男性」と回答する場合 「1」に○印

- 2 一部の質問には、具体的な内容を御記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはつきりと御記入ください。

- 3 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。  
 介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態  
 介助…御自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

## ■ 個人情報の取扱いについて

- 1 調査票および返信用封筒には、氏名、住所の記入は不要です。
- 2 調査票の送付に使用した氏名、住所は、本調査票の送付のためにのみ使用し、それ以外の目的には一切使用いたしません。

## ■ その他

- 1 本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。
- 2 調査に御協力いただくにあたり、市役所や区役所が口座番号や暗証番号などの提供や現金自動預払機(ATM)の操作を求めることは、絶対にありません。

## 次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための すこやかアンケート 御協力のお願い

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和9年度から令和11年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画・京都市認知症施策推進計画・京都市成年後見制度利用促進計画)を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいの65歳以上の方(令和7年7月1日現在)の中から無作為に抽出させていただいた、約4,200人の皆様です。

なお、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数はございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年9月  
京都市

## ■ 回答方法・御返送いただく期日

- 1 回答は、①この調査票に直接記入していただく方法と、②インターネット(WE B)による方法があります。②インターネット(WE B)による回答のしかたは21ページを御参照ください。
- 2 令和7年10月24日(金)までに、調査票に御記入の後、無記名のまま同封の返信用封筒に入れて御返送いただくか、インターネット(WE B)で御回答ください。

## ■ 御記入いただく方について

この調査票は、原則として、あて名の御本人がお答えいただくことを想定していますが、健康状態などにより御本人によるお答えができない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。

つきましては、調査票の御回答に先立ち、次の間にお答えください。

問 調査票を記入された方をお教えください。<あてはまる方に○を付けてください。>

- 1 あて名の御本人が記入
- 2 御本人以外の方が記入

「京都市民長寿すこやかプラン」

(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画・

京都市認知症施策推進計画・京都市成年後見制度利用促進計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、3年ごとに、「高齢者保健福祉計画」、「介護保険事業計画」、「認知症施策推進計画」及び「成年後見制度利用促進計画」の4つの計画を一体的に策定し、それら計画の総称を「京都市民長寿すこやかプラン」として定めています。

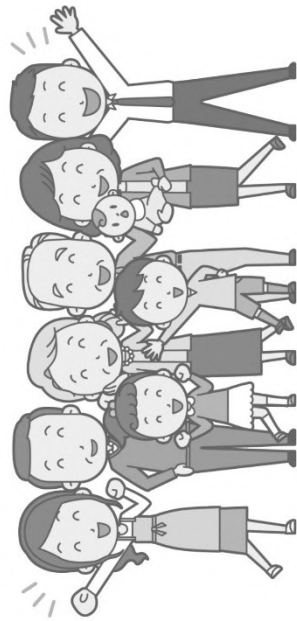
**高齢者保健福祉計画**は、元気な高齢者への健康づくりや生きがいづくり、ひとり暮らし高齢者への生活支援をはじめ、寝たきり、認知症、要介護状態になることを予防するサービスの提供、さらには要介護高齢者への介護サービスの提供など、本市に暮らす高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

**介護保険事業計画**は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

**認知症施策推進計画**は、認知症の人を含めたひとりひとりが、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあう共生社会の実現に向けて、取り組んでいく施策について定めたものです。

**成年後見制度利用促進計画**は、認知症高齢者など、判断力が不十分であっても、人としての尊厳が損なわれることなく、その人らしく暮らし続けていくことを支援する成年後見制度のさらなる利用促進に向けた施策について定めたものです。

この調査は、令和9年度からの次期「京都市民長寿すこやかプラン」(令和9年度から令和11年度まで)策定の基礎資料とするため、実施するものです。



あなたや御家族の状況についてお聞きします。

問1. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の年齢をお教えてください。  
<〇は1つ>

- |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90～94歳 |
| 7. 95～99歳 | 8. 100歳以上 |           |

問2. あなたの性別をお教えてください。<〇は1つ>

- |       |       |                 |
|-------|-------|-----------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他(答えたくない等) |
|-------|-------|-----------------|

問3. あなたは現在の地域(学区※)に何年お住まいですか。<〇は1つ>

- |               |              |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満       | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上     |
- ※小学校区

問4. あなたの家族構成をお教えてください。<〇は1つ>

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 一人暮らし             | 2. 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上) |
| 3. 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下) | 4. 息子・娘との2世帯         |
| 5. その他               |                      |

問5. あなたは現在収入になる仕事をしていきますか。<〇は1つ>

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. している ⇒問5-1A | 2. していない ⇒問5-4A |
|----------------|-----------------|

問5-1. 問5で「1. している」と回答した方にお聞きします。

主な就労形態は、次のどれですか。<〇は1つ>

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自営業(経営、手伝い等を含む) | 2. 社員(役員等を含む)      |
| 3. 臨時・日雇い・パート      | 4. シルバー人材センターからの紹介 |
| 5. 内職              |                    |
| 6. その他(具体的に: )     |                    |

問5-2. 問5で「1. している」と回答した方にお聞きします。

働いている主な理由は何か。<〇は1つ>

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1. 生活費をまかなうため   | 2. こづかいがほしいから    |
| 3. 健康によいから      | 4. 友達がほしいから      |
| 5. 仕事そのものが面白いから | 6. 知識や技能を生かしたいから |
| 7. 時間に余裕があるから   | 8. 社会のために役立ちたいから |
| 9. その他(具体的に: )  |                  |

問9-1. 問9で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」又は、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。  
 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。  
 <あてはまるものすべてに○>

1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等）	2. 心臓病
3. がん（悪性新生物）	4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等）
5. 関節の病気（リウマチ等）	6. 認知症（アルツハイマー病等）
7. パーキンソン病	8. 糖尿病
9. 腎疾患（透析）	10. 視覚・聴覚障害
11. 骨折・転倒	12. 脊椎損傷
13. 高齢による衰弱	14. その他
15. 不明	(具体的に：)

問9-2. 問9で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお聞きします。  
 主にどなたの介護・介助を受けていますか。<あてはまるものすべてに○>

1. 配偶者（夫・妻）	2. 息子	3. 娘
4. 子の配偶者	5. 孫	6. 兄弟・姉妹
7. 介護サービスのヘルパー	8. その他（具体的に：)	

**運動・外出についてお聞きします。**

問10. あなたは階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。<○は1つ>

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問11. あなたは椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。  
 <○は1つ>

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問12. あなたは15分位続けて歩いていますか。<○は1つ>

1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない
--------------	---------------	---------

問13. あなたは週に1回以上は外出していますか。<○は1つ>

1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
--------------	--------	----------	----------

問5-3. 問5で「1. している」と回答した方にお聞きします。  
 何歳まで働きたいですか。<○は1つ>

1. 65～69歳	2. 70～74歳
3. 75～79歳	4. 80～84歳
5. 85～89歳	6. 90歳以上

問5-4. 問5で「2. していない」と回答した方にお聞きします。  
 その主な理由はなんですか。<○は1つ>

1. 働きたいが仕事がないから	2. 自分に合った仕事がないから
3. 病気がちであるから	4. 家族が反対するから
5. ボランティア活動などをしたいたから	6. 特に生活には困っていないから
7. 働きたくないから	
8. その他（具体的に：)	

問6. あなたの個人の年間総収入（年金収入を含む。税込。）はどのくらいですか。  
 <○は1つ>

1. 50万円未満	2. 50万円～100万円未満
3. 100万円～200万円未満	4. 200万円～300万円未満
5. 300万円～400万円未満	6. 400万円～500万円未満
7. 500万円～600万円未満	8. 600万円～700万円未満
9. 700万円以上	

問7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。<○は1つ>

1. 大変苦しい	2. やや苦しい	3. ぶつう
4. ややゆとりがある	5. 大変ゆとりがある	

問8. あなたの要介護認定区分は次のどれにあてはまりますか。<○は1つ>

1. 要支援1	2. 要支援2	3. 要介護1	4. 要介護2	5. 要介護3
6. 要介護4	7. 要介護5	8. 事業対象者	9. 自立（認定なし）	

問9. あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。<○は1つ>

1. 介護・介助は必要ない ⇒問10へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない ⇒問9-1へ
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けていない家族などの介護を受けている場合も含む） ⇒問9-1へ



**物忘れについてお聞きします。**

問25. あなたは物忘れが多いと感じますか。<○は1つ>

1. 感じる                      2. 感じない

**日常生活についてお聞きします。**

問26. あなたはバスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可)  
<○は1つ>

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

問27. あなたは自分で食品・日用品の買物をしていますか。<○は1つ>

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

問28. あなたは自分で食事の用意をしていますか。<○は1つ>

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

問29. あなたは自分で請求書の支払いをしていますか。<○は1つ>

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

問30. あなたは自分で預貯金の出し入れをしていますか。<○は1つ>

1. できるし、している    2. できるけどしていない    3. できない

問31. 現在、あなたが日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。  
<○は5つまで。うち最もそう感じるものに◎>

1. 食事の準備・後片付けをすること  
2. 掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること  
3. 衣服の着脱・食事・入浴に関すること  
4. 身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと  
5. 段差や間取り、耐震など住まいの建物構造に関すること  
6. 契約や財産管理の手続きをすること  
7. 相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと  
8. 外出時の移動が負担であること  
9. 病院に通院すること  
10. 近くに話し相手がいらないこと  
11. 自分を介助する家族などの負担が大きいこと  
12. 買い物したり、荷物を持ち運ぶこと  
13. 高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと  
14. 住宅の軽微な修繕に関すること  
15. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をすること  
16. その他（具体的に： )

**社会参加についてお聞きします。**

問32. あなたは年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。  
<○は1つ>

1. 書ける                      2. 書けない

問33. あなたは、自分の生活に必要な情報をどのように取得していますか。  
<あてはまるものすべてに○>

1. テレビ    2. 新聞    3. ラジオ    4. 固定電話・ファックス  
5. 携帯電話、スマートフォン    6. パソコン・タブレット端末  
7. 本・雑誌、タウン誌    8. 市民しんぶん  
9. その他（具体的に： )    10. 特に取得していない

問34. あなたはいざという時に頼れる親族がいますか。<○は1つ>

1. いる                      2. いない

問38. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。<○は1つ>

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問39. あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお答えをお願いします。  
<(1)から(4)までそれぞれあてはまるものすべてに○>

(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人

1. 配偶者	2. 同居の子供	3. 別居の子供
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近所の人	6. 友人
7. その他( )	8. そのような人はいない	

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人

1. 配偶者	2. 同居の子供	3. 別居の子供
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近所の人	6. 友人
7. その他( )	8. そのような人はいない	

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

1. 配偶者	2. 同居の子供	3. 別居の子供
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近所の人	6. 友人
7. その他( )	8. そのような人はいない	

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

1. 配偶者	2. 同居の子供	3. 別居の子供
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	5. 近所の人	6. 友人
7. その他( )	8. そのような人はいない	

問40. あなたは地域包括支援センター(愛称:高齢サポーター)を知っていますか。また、相談したことはありませんか。<○は1つ>



※高齢サポーターのシンボルマーク→

1. よく知っており、たびたび相談している
2. 知っており、相談したことがある
3. 知っているが、相談したことはない
4. 名前を聞いたことはあるが、どういふところか知らない
5. 全く知らない

問35. あなたは現在、家族や親族の介護を行っていますか。<○は1つ>

1. 行っている	2. 行っていない
----------	-----------

問36. あなたは以下のような会・グループ等どのくらいの頻度で参加していますか。  
<(1)から(8)までそれぞれ○は1つずつ>

	1. 週4回以上	2. 週2~3回	3. 週1回	4. 月1~3回	5. 年に数回	6. 参加していない
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
(4) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
(5) 介護予防のための通いの場 (健康長寿サロン、健康すこやか学級、老人福祉センター、公園体操など)	1	2	3	4	5	6
(6) 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
(7) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
(8) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

問37. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。<○は1つ>

1. 是非参加したい	2. 参加してもよい
3. 参加したくない	4. 既に参加している

問41. 近所づきあい・外出に関することについておうかがいします。  
あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。  
<あてはまるものすべてに○>

1. 話し相手 2. 家事の手伝い 3. 荷物を預かったりすること 4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い 5. 子供たちの世話（遊び相手や見守り） 6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど 7. 急病人が出たときの世話や手伝い 8. 冠婚葬祭の手伝い 9. その他（具体的に： )
--

問42. あなたは現在、問36にあるような会・グループ等の担い手（参加者ではなく運営側）に既になっていますか。  
<○は1つ>

1. なっている ⇒問42-1ハ      2. なっていない ⇒問43ハ
---------------------------------------

問42-1. 問42で「1. なっている」と回答した方にお聞きします。  
それはどのような活動ですか。

**健康についてお聞きします。**

問43. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。<○は1つ>

1. とてもよい      2. まあよい      3. あまりよくない      4. よくない
--

問44. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気がありますか。  
<あてはまるものすべてに○>

1. ない 3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 5. 糖尿病 7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 9. 腎臓・前立腺の病気 10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) 12. がん(悪性新生物) 14. うつ病 16. パーキンソン病 18. 耳の病気	2. 高血圧 4. 心臓病 6. 高脂血症(脂質異常) 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 11. 外傷(転倒・骨折等) 13. 血液・免疫の病気 15. 認知症(アルツハイマー病等) 17. 目の病気 19. その他(具体的に： )
--	---

問45. あなたには、気軽に相談でき、何かあれば診療を受ける、決まった「(1) かかりつけ医」、「(2) かかりつけ歯科医」、「(3) かかりつけ薬剤師(薬局)」がいますか。  
<(1)から(3)までそれぞれ○は1つずつ>

(1)かかりつけ医	1. いる 2. いないが、何かあれば受診する医療機関は決まっている 3. いない 4. わからない
(2)かかりつけ歯科医	1. いる 2. いないが、何かあれば受診する歯科医院は決まっている 3. いない 4. わからない
(3)かかりつけ薬剤師(薬局)	1. いる 2. いないが、何かあれば服薬相談をする薬局は決まっている 3. いない 4. わからない

問46. あなたは、問45にあるような人々が行う、計画を立て定期的に居宅を訪問するようなサービスを利用していますか。<あてはまるものすべてに○>

1. 訪問診療(かかりつけ医) 2. 訪問歯科診療(かかりつけ歯科医) 3. 訪問薬剤管理指導(かかりつけ薬剤師) 4. 訪問看護(看護師) 5. いずれも利用していない
---

**健康づくりや介護予防、見守りについてお聞きします。**

問52. あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。  
 <(1)から(10)までそれぞれ○は1つずつ>

	1. している	2. 今はしていないが 今後はしてみたい	3. 特に考えていない
(1) ウォーキング・散歩	1	2	3
(2) ジム等でトレーニング	1	2	3
(3) ゴルフ・水泳などのスポーツ	1	2	3
(4) 軽い体操 (ストレッチ、ラジオ体操など)	1	2	3
(5) 健康教室に参加	1	2	3
(6) 介護予防教室に参加	1	2	3
(7) 健康診断を受診	1	2	3
(8) 歯科検診を受診	1	2	3
(9) ボランティア活動	1	2	3
(10) 収入のある仕事	1	2	3

問53. あなたは、緊急時の見守り・駆け付けサービスを利用していますか。(京都市の緊急通報システム事業を除く) <○は1つ>

1. 利用している
2. 今は利用していないが、今後は利用してみたい
3. 特に考えていない

問47. あなたはお酒を飲みますか。<○は1つ>

1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない

問48. あなたはタバコを吸っていますか。<○は1つ>

1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

問49. あなたは現在のどの程度幸せですか(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、あてはまる点数に○印をおつけください。)<○は1つ>

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1	2
2	3
3	4
4	5
5	6
6	7
7	8
8	9
9	10点

問50. あなたの心身の状況についておうかがいします。<それぞれ○は1つ>

(1) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. あった	2. なかった
(2) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめる感じがよくありませんでしたか	1. あった	2. なかった

問51. あなたは、会話をする時に聞き返すことがよくあるなど、聞こえにくいと感じることがありますか。<○は1つ>

1. ある (補聴器を使用していない) ⇒ 問51-1へ
2. ある (補聴器を使用している) ⇒ 問52へ
3. ない (補聴器を使用していない) ⇒ 問52へ
4. ない (補聴器を使用している) ⇒ 問52へ

問51-1. 問51で「1. ある(補聴器を使用していない)」と回答した方にお聞きします。  
 補聴器を使用していない理由は何ですか。<あてはまるものすべてに○>

1. 高価だから
2. 購入方法がわからないから
3. 補聴器が必要なほど聞こえにくいわけてはならないから
4. 補聴器の使用に抵抗を感じるから(恥ずかしい、わずらわしい など)
5. 以前使用していたが、合わなかったから
6. その他(具体的に: )





問65. あなたは、あなたの身近な地域にどのようなサービスがあるか御存知ですか。  
 <あてはまるものすべてに○>

1. 在宅で利用するサービス（デイケア、ショートステイなど）
2. 施設・居住系のサービス（特別養護老人ホーム、老人保健施設など）
3. 介護予防のための教室や相談会（地域介護予防推進センター、健康すこやか学級など）
4. 認知症に関するサービス（長寿すこやかセンター、認知症カフェなど）
5. 気軽に立ち寄れる通いの場（健康長寿サロン、老人福祉センターなど）
6. 就業やボランティアを支援するサービス（シルバー人材センター、京都ボランティア協会など）
7. 一人暮らしの高齢者を支えるサービス（配食サービス、緊急通報システムなど）
8. 社会福祉協議会
9. 知っているものはない

問66. あなたは、今後も住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべ  
 ぎだと思いますか。<○は5つまで。うち最もそう感じるものに◎>

1. 配食サービス等食事の提供
2. 掃除・ごみ出し・洗濯など
3. 衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス
4. 夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること
5. 身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること
6. 自宅近くで「通い」や「訪問」、「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組  
 み合わせながら利用できること
7. 段差や間取り、耐震などが充実した住まいが提供されることや、バリアフリー改  
 修の支援が受けられること
8. 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
9. 相談にいつでも乗ってもらえること
10. 外出時にサポートが受けられること
11. 医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること
12. 親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること
13. 高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような  
 居場所があること
14. 介護をすする家族などの負担を軽減してもらえること
15. 買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること
16. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること
17. その他（具体的に：）

問67. あなたはもし、御自身に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。  
 <○は1つ>

1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい
2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい } ⇒問67-1ハ
3. 早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい } ⇒問68ハ
4. その他（具体的に：）

問67-1. 問67で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2.  
 できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答  
 した方にお聞きします。  
 どのような介護を希望しますか。<○は1つ>

1. 家族中心に介護を受けたい
2. 家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
3. 外部の介護サービスを中心に介護を受けたい
4. その他（具体的に：）

問68. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。<○は1つ>

1. 自宅
2. 子や孫など家族の家
3. 特別養護老人ホームなどの施設等
4. 病院などの医療施設（緩和ケア病棟やホスピス含む）
5. その他（具体的に：）

問69. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当  
 たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増  
 加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。  
 あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に  
 近いものは次のどれですか。<○は1つ>


1. 現在の介護保険サービス水準※を維持するためには必要な保険料上昇もやむを得  
 ない
2. 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記よりもさらに保険料  
 が上昇してもやむを得ない
3. 保険料を現状程度に維持するために介護サービス水準が縮小してもやむを得ない
4. その他（具体的に：）
5. わからない

※介護保険サービス水準：一人当たりが使える介護サービスの量など

**パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！**

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんので御注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。  



[二次元バーコード]
- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）をURL欄に手入力し、エンターキーを押してください。  

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src2/261009kk>
- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDとパスコードを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。  

◇ID  
kk0001

◇パスコード

47434

※IDは、個人を特定するものではありません。
- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。

行政区
01

問70. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問71. 任意後見制度とは、成年後見制度の1つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下した後、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問72. 本市では、令和6年11月に「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」（ケアラー支援条例）を制定しました。あなたは「ケアラー」という言葉を知っていますか。<○は1つ>

1. 言葉の意味を知っている	2. 言葉は聞いたことがあるが、意味はわからない
3. 知らない	

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

## 2 若年者調査

### ■ 調査に関するお問い合わせ先

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課  
 (担当：岡本、新谷)  
 電話 : 075 (222) 3800  
 FAX : 075 (213) 5801

### ■ 御記入上のお願い

- 1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。質問の冒頭に「あなた」と記載しているものについては全ての方に、波線(〇)で記載している質問は該当する方に、それぞれお答えをお願いします。

#### <記入例>

問2 あなたの性別をお教えください。<○は1つ>

① 男性 2. 女性 3. その他 (答えたくない等) ◀ 「1」に○印

- 2 一部の質問には、具体的な内容を御記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはつきりと御記入ください。
- 3 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。  
 介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態  
 介助…御自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

### ■ 個人情報の取扱いについて

- 1 調査票および返信用封筒には、氏名、住所の記入は不要です。
- 2 調査票の送付に使用した氏名、住所は、本調査票の送付のためにのみ使用し、それ以外の目的には一切使用いたしません。

### ■ その他

- 1 本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようしくお願いいたします。
- 2 調査に御協力いただくにあたり、市役所や区役所が口座番号や暗証番号などの提供や現金自動預払機(ATM)の操作を求めることは、絶対にありません。

### 次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための

## すこやかアンケート 御協力をお願いします

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和9年度から令和11年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画・京都市認知症施策推進計画・京都市成年後見制度利用促進計画)を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいの40歳以上65歳未満の方(令和7年7月1日現在)の中から無作為に抽出させていただいた、約1,200人の皆様です。

なお、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年9月  
 京都市

### ■ 回答方法・御返送いただく期日

- 1 回答は、①この調査票に直接記入していただく方法と、②インターネット(WEB)による方法があります。②インターネット(WE B)による回答のしかたは12ページを御参照ください。
- 2 **令和7年10月24日(金)**までに、調査票に御記入の後、**無記名のまま同封の返信用封筒**に入れて御返送いただくか、インターネット(WE B)で御回答ください。

### ■ 御記入いただく方について

この調査票は、原則として、あて名の御本人がお答えいただくことを想定していますが、健康状態などにより御本人によるお答えがでない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。

つきましては、調査票の御回答に先立ち、次の間にお答えください。

問 調査票を記入される方をお教えください。<あてはまる方に○を付けてください。>

1. あて名の御本人が記入
2. 御本人以外の方が記入

「京都市民長寿すこやかプラン」

(京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画・

京都市認知症施策推進計画・京都市成年後見制度利用促進計画)とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、3年ごとに、「高齢者保健福祉計画」、「介護保険事業計画」、「認知症施策推進計画」及び「成年後見制度利用促進計画」の四つの計画を一体的に策定し、それら計画の総称を「京都市民長寿すこやかプラン」としています。

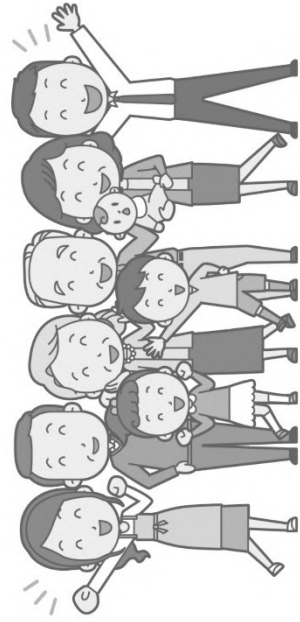
**高齢者保健福祉計画**は、元気な高齢者への健康づくりや生きがいづくり、ひとり暮らし高齢者への生活支援をはじめ、認知症、要介護状態になることを予防するサービスの提供、さらには要介護高齢者への介護サービスの提供など、本市に暮らす高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

**介護保険事業計画**は、地域における介護サービスの必要性を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

**認知症施策推進計画**は、認知症の人を含めたひとりひとりが、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支えあう共生社会の実現に向けて、取り組んでいく施策について定めたものです。

**成年後見制度利用促進計画**は、認知症高齢者など、判断力が不十分であっても、人としての尊厳が損なわれなくなり、その人らしく暮らし続けていくことを支援する成年後見制度のさらなる利用促進に向けた施策について定めたものです。

この調査は、令和9年度からの次期「京都市民長寿すこやかプラン」(令和9年度から令和11年度まで)策定の基礎資料とするため、実施するものです。



あなたや御家族の状況についてお聞します。

問1. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の年齢をお教えてください。

<○は1つ>

1. 40～44歳      2. 45～49歳      3. 50～54歳  
4. 55～59歳      5. 60歳以上

問2. あなたの性別をお教えてください。<○は1つ>

1. 男性      2. 女性      3. その他（答えたくない等）

問3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。<○は1つ>

1. 北区      2. 上京区      3. 左京区      4. 中京区  
5. 東山区      6. 山科区      7. 下京区      8. 南区  
9. 右京区      10. 西京区      11. 西京区(洛西支所)      12. 伏見区  
13. 伏見区(深草支所)      14. 伏見区(醍醐支所)

問4. あなたは現在の地域（学区※）に何年お住まいですか。<○は1つ>

1. 1年未満      2. 1年以上～5年未満  
3. 5年以上～10年未満      4. 10年以上

※小学校区

問5. あなたの同居者（家族）の構成をお教えてください。<○は1つ>

1. 単身世帯（ひとり暮らし）  
2. 一世代（夫婦のみ）  
3. 一世代（兄弟姉妹のみ）  
4. 二世代同居（あなた（夫婦）と親）  
5. 二世代同居（あなた（夫婦）と子）  
6. 三世代同居（あなた（夫婦）と子と孫）  
7. 三世代同居（あなた（夫婦）と親と子）  
8. その他（具体的に：      ）

問6. あなたの世帯の年間総収入（年収入を含む。税込）はどのくらいですか。<○は1つ>

1. 50万円未満      2. 50万円～100万円未満  
3. 100万円～200万円未満      4. 200万円～300万円未満  
5. 300万円～400万円未満      6. 400万円～500万円未満  
7. 500万円～600万円未満      8. 600万円～700万円未満  
9. 700万円以上

問7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。<○は1つ>

1. 苦しい      2. やや苦しい      3. ややゆとりがある      4. ゆとりがある

介護・介助に対する意識等についてお聞します。

問8. あなたは認知症（若年性認知症含む）の症状や認知症の方への対応等について学んだことがありますか。<○は1つ>

1. 学んだことがある      2. 学んだことはない

問9. あなたは65歳以下で発症する認知症である「若年性認知症」について知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている      2. 知らない

問10. あなたは若年性認知症の方の相談窓口や、支援機関、取組について知っていますか。<あてはまるものすべてに○>

1. 認知症初期集中支援チーム  
2. 京都市長寿すこやかセンター  
3. 認知症サポーター  
4. 本市発行認知症ケアパス・チェックリスト  
5. 認知症カフェ  
6. 地域包括支援センター（高齢サポーター）  
7. その他（具体的に：      ）  
8. 知らない

問11. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。<○は3つまで>

1. 認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実  
2. デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実  
3. 買い物や家事援助など、日常生活における支援  
4. 地域の中で認知症の方を見守る「認知症サポーター」の養成  
5. 認知症の方や家族が気軽に利用できる居場所づくりの充実  
6. 介護家族交流会の開催など、介護をする方への支援  
7. 認知症の方自身や、介護をする方の雇用の継続や就労の支援  
8. 最新情報の収集や専門職への相談ができる窓口の充実  
9. 認知症の方に対する虐待防止や本人の財産を守る（消費者被害の防止等）などの権利擁護に関する支援  
10. その他（具体的に：      ）  
11. わからない

問12. あなたは、現在、家族の介護をしていますか。＜○は1つ＞

- 1. している ⇒問13ハ
- 2. していないが将来介護を必要とする方がいる ⇒問14ハ
- 3. 将来介護を必要とする方がいない ⇒問16ハ

問13. 問12で「1. している」と回答した方にお聞きします。  
現在の勤務形態について、御回答ください。＜○は1つ＞

- 1. フルタイムで働いている } ⇒問13-1 (1) ~ (3) ハ
- 2. パートタイムで働いている }
- 3. 働いていない ⇒問14ハ

問13-1. 問13で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。

(1) 主な介護者の方は、介護をするに当たって、何か働き方についての調整等を行っていますか。＜あてはまるものすべてに○＞

- 1. 特に行っていない
- 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰等）」しながら働いている
- 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている
- 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
- 5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら働いている
- 6. わからない

(2) 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。＜あてはまるものすべてに○＞

- 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
- 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
- 3. 制度を利用しやすい職場づくり
- 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
- 5. 働く場所の多様な選択（在宅勤務・テレワークなど）
- 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
- 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
- 8. 介護をしている従業員への経済的支援
- 9. その他（具体的に： )
- 10. 特にならない
- 11. わからない

(3) 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。＜○は1つ＞

- 1. 問題なく続けていける
- 2. 問題はあるが何とか続けていける
- 3. 続けていくのはやや難しい
- 4. 続けていくのはかなり難しい
- 5. わからない

問14. 問12で「1. している」又は「2. していないが将来介護を必要とする方がいる」と回答した方にお聞きします。

あなたが頼りにしている相談先を教えてください。＜あてはまるものすべてに○＞

- 1. 区役所・支所
- 2. 家族
- 3. 家族会
- 4. 地域包括支援センター
- 5. 居宅介護支援事業所のケアマネジャー
- 6. 介護サービス事業所
- 7. 病院
- 8. 民生委員・児童委員
- 9. 老人福祉員
- 10. 近所の人や知人
- 11. その他（具体的に： )
- 12. 頼れる相談先がない
- 13. 相談先がわからない
- 14. 必要がないので相談したことがない

問14-1. 問14で「1」～「11」と回答した方にお聞きします。

その窓口の情報はどこから知りましたか。＜あてはまるものすべてに○＞

- 1. インターネットでの検索
- 2. 公的機関が発行した出版物
- 3. 介護に関する雑誌や本
- 4. 行政への電話やメール
- 5. 家族や親族から
- 6. 友人、知人から
- 7. 医療機関や高齢サポートの従事者から
- 8. その他（具体的に： )

問15. 問12で「1. している」又は「2. していないが将来介護を必要とする方がいる」と回答した方にお聞きします。

あなたは、介護を受けている人と同居していますか。＜○は1つ＞

- 1. 同居している ⇒問16ハ
- 2. 同居していない ⇒問15-1 (1) ~ (3) ハ

問15-1. 問15で「2. 同居していない」と回答された方にお聞きします。

(1) 介護を受けている方が居住している家までの移動時間はどれくらいですか。＜○は1つ＞

- 1. 30分以内
- 2. 1時間以内
- 3. 2時間以内
- 4. それ以上

(2) 介護を受けている方が居住している家までの移動手段はどれですか。

<○は主なもの1つだけ>

1. 徒歩・自転車 2. 電車・バス 3. 自家用車 4. その他(具体的に: )

(3) 介護を受けている方の様子を見に行くにあたって、居住地の移転をした、又は今後移転する予定がありますか。<○は1つ>

1. 自分の家の近くの住居や施設に転居させる  
 2. 介護を受けている方の家の近くに自分が転居する  
 3. 現在、近くに住んでいるので転居せず様子を見に行く  
 4. 現在、遠くに住んでいるが転居せずに様子を見に行く  
 5. 兄弟などの親族が様子を見に行くので、自分は転居しない  
 6. その他(具体的に: )

問16. あなたが現在の生活を継続していくに当たって、不安に感じる介護等について、御回答ください(現状で行っているか否かは問いません。)

<あてはまるものすべてに○>

1. 屋内の移乗・移動 2. 外出の付き添い、送迎等  
 3. 入浴・洗身 4. 日中の排泄  
 5. 夜間の排泄 6. 食事の準備(調理等)  
 7. 食事の介助(食べる時) 8. 服薬  
 9. 認知症状への対応 10. 衣服の着脱  
 11. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) 12. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)  
 13. 医療面での対応(経営栄養、ストーマ等) 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き  
 15. その他( ) 16. 不安に感じていることは、特にな  
 17. わからない

問17. あなたは、介護休業制度を知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている 2. 知らない

問18. あなたは、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。

<○は3つまで>

1. 介護をする方の心身の負担を軽減するための支援  
 2. 介護をする方の経済的負担を軽減するための支援  
 3. 気軽に相談できる場の確保  
 4. 地域の中で見守りが行われること  
 5. 認知症の方への対応を含む介護方法の周知  
 6. 認知症への知識や理解を深めるための研修会等の開催  
 7. その他(具体的に: )  
 8. わからない

問19. あなたは、家族等の介護をするうえで、次のようなICT技術を生かしたツールを活用している又は使いたいと思いますか。<あてはまるものすべてに○>

	現在活用しているもの	今後活用したい
(1) 家電類のセンサーで安否確認ができるサービス	1	1
(2) カメラなどで遠隔で、様子を見ることができるサービス	2	2
(3) ウェアラブル端末を活用して、脈拍などの身体状況を知らせるサービス	3	3
(4) GPSなどで高齢者の所在地を確認できるサービス	4	4
(5) 特にな	5	5

問20. あなたは介護と仕事を両立するために、企業等にどのような支援策があれば良いと思いますか。<○は3つまで>

1. 介護休業制度や介護休暇等に関する制度の整備  
 2. フレックスや在宅勤務、時間短縮等の柔軟な働き方の取組の充実  
 3. 介護に関する相談窓口や相談担当者の設置  
 4. 介護に直面した就労者への仕事と介護の両立に関する情報提供、セミナーの開催  
 5. 介護に直面しているかを問わず就労者への仕事と介護の両立に関する情報提供  
 6. 介護に直面した就労者も働きやすい職場環境づくりに向けての企業経営者層、人事担当者、管理職等を対象とした研修やセミナー、情報交換会等の開催  
 7. 家族や親族と企業等との日常的なコミュニケーション  
 8. 経済的支援  
 9. その他(具体的に: )

問21. あなたは介護サービスの利用が必要になった際の利用方法を知っていますか。

<○は1つ>

1. 知っている 2. 知らない

**社会参加についてお聞きします。**

問22. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。

	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 今後参加したいが、 今後参加しない	7. 参加も 参加しない
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	7
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	7
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	7
(4) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	7
(5) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	7
(6) その他の団体や会	1	2	3	4	5	6	7

問23. あなたは以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。＜(1)から(5)までそれぞれ○は1つずつ＞


	1. 週4回以上	2. 週2～3回	3. 週1回	4. 月1～3回	5. 年に数回	6. 今後していないが、 今後したい	7. 今後もしない
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(3) 子供を育てている親を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	1	2	3	4	5	6	7
(5) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	7

問24. あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。＜あてはまるものすべてに○＞

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善（環境美化、緑化推進、まちづくりなど）
3. 生活安全活動（交通安全、防犯・防災など）
4. 高齢者の方への支援（家事援助、移送など）
5. 障害のある方への支援（保育の手伝いや地域での子供の見守りなど）
6. 子育て支援（祭などの地域の催しもの世話など）
7. 地域行事（祭などの地域の催しもの世話など）
8. その他（具体的に： )
9. 今後参加したいと思うものはない

問25. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポーター）を知っていますか。

＜○は1つ＞

※高齢サポーターのシンボルマーク→ 

1. 知っている
2. 知らない

問26. あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。

＜あてはまるものすべてに○＞

1. 話し相手
2. 家事の手伝い
3. 荷物を預かったりすること
4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い
5. 子供たちの世話（遊び相手や見守り）
6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど
7. 急病人が出たときの世話や手伝い
8. 冠婚葬祭の手伝い
9. その他（具体的に： )

**高齢期についてお聞きします。**

問27. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。＜○は1つ＞

1. 不安はない ⇒問28ハ      2. 不安を感じる ⇒問27-1ハ  
3. わからない ⇒問28ハ

問27-1. 問27で「2. 不安を感じる」と回答した方にお聞きします。  
どんなことに不安を感じますか。＜○は3つまで＞

1. 生活費など経済的な不安      2. 働く場がなくなると就労の不安  
3. 介護が必要な状態になること      4. 近所づきあいが無い  
5. 生きがいがない      6. 住まいに関する不安  
7. 家族との団らんがない      8. 自分の健康に関する不安  
9. 家族の健康に関する不安      10. 死期に対する不安  
11. なんとなく不安      12. その他  
13. わからない      (具体的に： )

問28. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。

＜○は1つ＞

1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい      } ⇒問28-1ハ  
2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい      }  
3. 早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい      } ⇒問29ハ  
4. その他 (具体的に： )

問28-1. 問28で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。

どのような介護を希望しますか。＜○は1つ＞

1. 家族中心に介護を受けたい  
2. 家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせで介護を受けたい  
3. 外部の介護サービスを中心に介護を受けたい  
4. その他 (具体的に： )

**介護保険制度についてお聞きします。**

問29. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。

＜○は1つ＞

1. 大いに評価している      2. 多少は評価している  
3. あまり評価していない      4. 全く評価していない  
5. 何とも言えない      6. その他 (具体的に： )

問30. あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。＜○は5つまで＞

1. 配食サービス等食事の提供  
2. 掃除・ごみ出し・洗濯など  
3. 衣服の着脱・食事・入浴などの介護サービス  
4. 夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること  
5. 身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること  
6. 自宅近くで「通い」や「訪問」、「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせて利用できること  
7. 段差や間取り、耐震などが充実した住まいが提供されることや、バリアフリー改修の支援が受けられること  
8. 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること  
9. 相談にいつでも乗ってもらえること  
10. 外出時にサポートが受けられること  
11. 医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること  
12. 親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること  
13. 高齢者同士、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること  
14. 介護をする家族などの負担を軽減してもらえること  
15. 買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること  
16. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること  
17. その他 (具体的に： )

問31. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考えに近いものは次のどれですか。＜○は1つ＞

1. 現在の介護保険サービス水準<sup>※</sup>を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない  
2. 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない  
3. 保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない  
4. わからない  
5. その他 (具体的に： )

※介護保険サービス水準：一人当たりが使える介護サービスの量など

問32. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている                      2. 知らない

問33. 任意後見制度とは、成年後見制度の1つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下した後、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。<○は1つ>

1. 知っている                      2. 知らない

問34. 本市では、令和6年11月に「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」(ケアラー支援条例)を制定しました。あなたは「ケアラー」という言葉を知っていますか。<○は1つ>

1. 言葉の意味を知っている  
2. 言葉は聞いたことがあるが、意味はわからない  
3. 知らない

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

パソコン・スマートフォン・タブレット端末でも回答できます！

- WEBで回答された場合は、同封の調査票の返送は不要です。
- 携帯電話（ガラケー）では回答できませんので御注意ください。

- ◆ スマートフォン・タブレット端末の場合は、カメラで次の二次元バーコードを読み取ってください。



[二次元バーコード]

- ◆ パソコンの場合は、次のURL（「https…」から始まるアドレス）をURL欄に手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src2/261009kw>

- ◆ 最初の画面が表示されたら、次のIDとパスワードを入力し、「次へ」ボタンを押し、ログインしてください。

◇ID  ◇パスワード

※IDは、個人を特定するものではありません。

- ◆ ログイン後は、質問の番号順に沿って回答してください。